

WAKASHIO号事故に関するモーリシャスの環境回復・

地域貢献に向けた当社の取り組みについて

～活動アップデート～

2020年11月18日

株式会社商船三井

# 当社運航船 座礁および油濁発生 の件（当社プレスリリース）

2020年08月07日

株式会社商船三井（代表取締役社長：池田潤一郎、本社：東京都港区、以下「当社」）が、OKIYO MARITIME社（長鋪汽船株式会社[代表取締役社長：長鋪慶明、本社：岡山県笠岡市]の関連会社、以下「船主」）から備船し、運航しているばら積み貨物船WAKASHIO（読み方：わかしお、以下「本船」）は、中国からシンガポール経由でブラジル方面に向かう途中の日本時間7月26日(日)にモーリシャス島沖で座礁により船体が損傷し、救助作業中の8月6日(木)に燃料油が流出しました。これにより現場海域・地域に甚大な影響を及ぼしています。

当社は座礁事故発生後より社長をトップとする海難対策本部を立ち上げ、日本およびモーリシャスをはじめとする関係当局と連携して対応しています。また、現地への早期要員派遣を含め準備しています。当社は、引き続き船主や関係者と協力し、早期の事態解決に向けて全力で取り組みます。

## 【本船要目】

船種：鉄鋼原料船ケーブサイズバルカー

全長・全幅：299.5メートル・50メートル

乗組員：20名（インド人、スリランカ人、フィリピン人など）

船籍：パナマ

船主：OKIYO MARITIME（長鋪汽船株式会社の関連会社）

竣工年：2007年

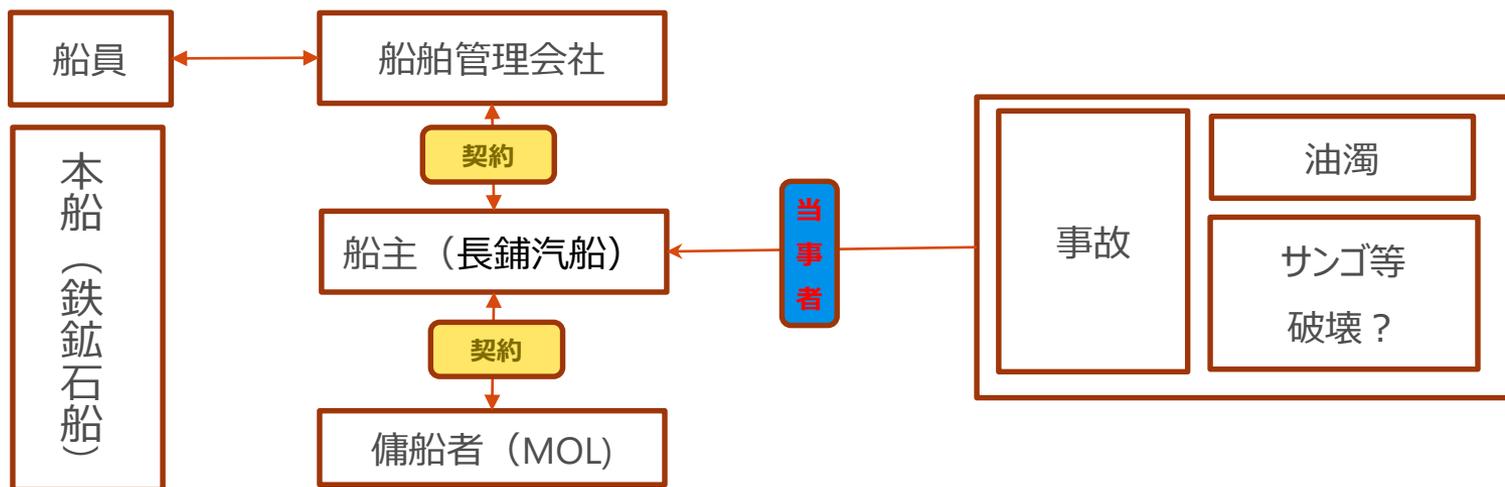


本船後部の状況



周囲写真

# 今般の事故に於ける契約関係と影響についての整理



# 当社環境回復・地域貢献策（4つの柱） = 2020年9月11日発表 =

## 自然環境保護・回復 プロジェクト

マングローブ

サンゴ

海鳥

自然環境  
回復基金の  
設立と拠出



## 寄付・資金拠出

現地NGO

モーリシャス政府系基金

国際公的機関等



## 地域社会

### 産業への貢献

漁業

観光



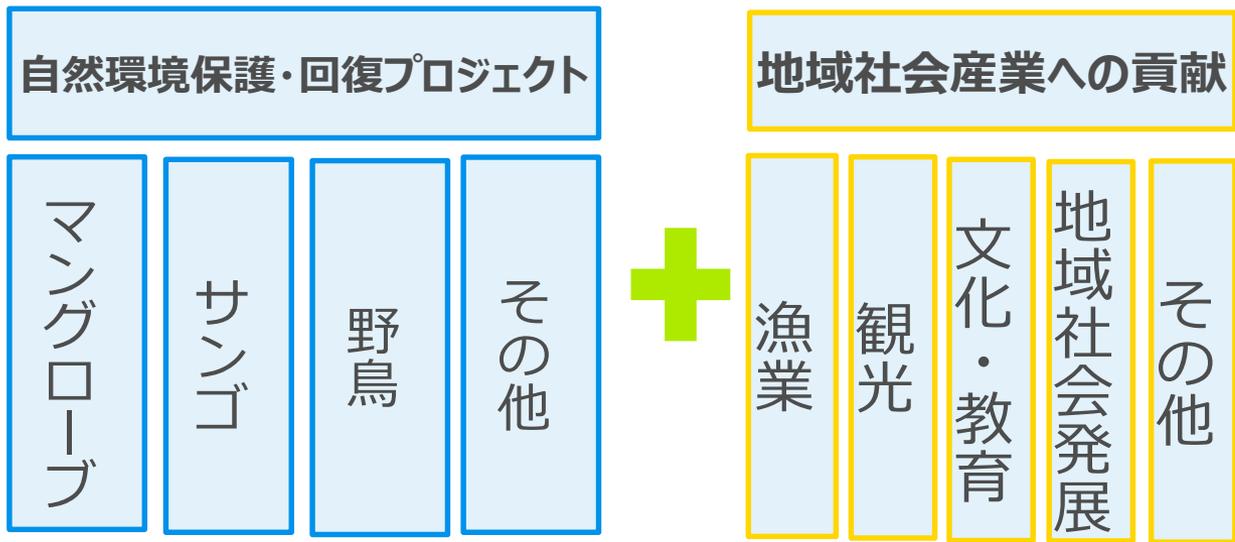
## 人的貢献

当社社員現地派遣継続

駐在員事務所設立

社員研修実施

# 今後目指す自然環境保護及び地域社会産業への貢献



- モーリシャス国民の健康的な生活及び、同国の持続可能な経済発展への支援・貢献
- 民間企業として、フットワークを生かした現地のニーズに寄り添った支援、きめの細かい支援、中長期的支援の実施（現地法人リソースの活用）



現地小学校訪問

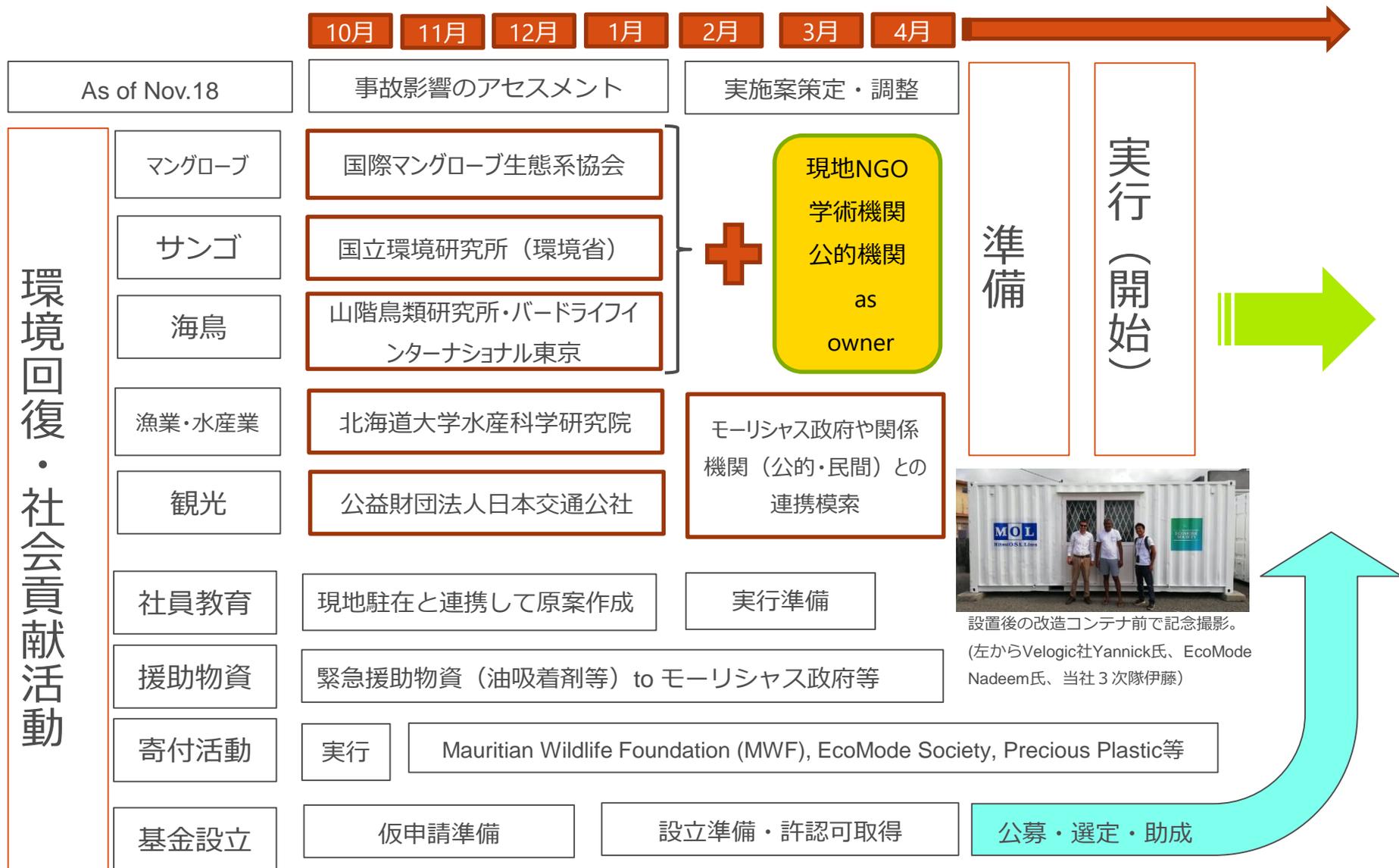


ジャグナット首相訪問



Bois des Amourette漁民のご家族と弊社派遣団

# 当社取組の現況・今後の計画とパートナーシップ



設置後の改造コンテナ前で記念撮影。  
(左からVelogic社Yannick氏、EcoMode Nadeem氏、当社3次隊伊藤)